

## 令和2年度第1回鎌倉市児童福祉審議会 議事録

日時：令和2年(2020年)8月19日(水)

場所：腰越支所 コミュニティ室

### ○議事次第

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 委員長及び副委員長の選出
- 4 議題
  - (1) キンダークリッペ西鎌倉の設置認可について
  - (2) その他
- 5 閉会

### ○委員出欠

#### ・出席者

小泉委員、富田委員、濱田委員、松原委員、山田委員

### ○事務局出席者

(こどもみらい部)

平井部長、永野次長

(こども支援課)

正木担当課長、中村係長、蔵並職員、齋藤職員

(保育課)

松本課長、長谷部係長、山下職員

## 次第1 開会

### ○正木課長

定刻になりましたので、ただいまから令和2年度第1回鎌倉市児童福祉審議会を開始いたします。

本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

また、当審議会委員をお引き受けくださり、誠にありがとうございました。

本日は令和2年度の第1回目の会議となります。後程、委員長と副委員長の選出をお願いいたしますが、選出までの議事進行を務めさせていただきます、こどもみらい部こども支援課担当課長正木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日、皆様の委員委嘱の辞令につきましては、お手元に配布させていただいております。お名前をご確認いただき、お納めくださいますようお願いいたします。

児童福祉審議会の開催に際しまして、こどもみらい部長の平井あかねよりご挨拶申し上げます。

### ○平井部長

改めまして、こんにちは。こどもみらい部長の平井でございます。先ほどは猛暑の中、施設見学ありがとうございました。先ほど担当課長から申しあげましたとおり、今回、皆様に委嘱辞令配布させていただいております。任期につきましては、2年ということになっております。2年間よろしくお願いいたします。この審議会につきましては、鎌倉市児童福祉審議会条例に基づきまして、障害児を含む児童の福祉に関すること、調査、審議する機関ということになっています。現在、本市の抱える大きな課題の1つとして待機児童対策があげられるかと思えます。昨年度は、新規の保育園を2園開設するとともに老朽化した保育園を1園建て替えをいたしまして、また、小規模保育園を1園、認可保育所に複合いたしました。これらにおきまして、入所定員が前年度と比較して217人増えることとなりました。待機児童の数については、前年度の78人から19人に減りまして59人というところでございます。昨年度より待機児童の数については、減少いたしましたけれども、県内でもまだまだ待機児童数は多いほうで2番目ということでございます。特に年齢別の待機児童については1歳児と2歳児に集中しているというような状況がございます。こうした中、今回は、小規模保育施設の開設については、待機児対策、待機児童解消に寄与するものと考えております。

本日は、先ほどご見学いただいた小規模保育施設キンダークリップの新設に関しまして、それぞれの立場からご意見頂戴したいと考えておりますので、忌憚ないご審議をお願いいたしまして私の挨拶とさせていただきます。

### ○正木課長

ありがとうございます。

それでは次第の2としまして、皆様方には、簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。恐れ入りますが、事前に配布いたしました資料4の委員名簿の順に一言ずつご挨拶を頂戴できればと思います。

それでは、小泉委員から順番にお願いいたします。

○小泉委員

鎌倉女子大学短期大学部の小泉と申します。よろしくお願いいたします。

○富田委員

岩瀬保育園の園長、富田でございます。よろしくお願いいたします。

○濱田委員

主任児童委員腰越地区の濱田でございます。よろしくお願いいたします。

○松原委員

明治学院大学の名誉教授の命をいただきました、松原です。よろしくお願いいたします。

○山田委員

鎌倉市私立幼稚園協会おおぞら幼稚園の園長、山田でございます。

よろしくお願いいたします。

○正木課長

ありがとうございました。

なお、本日は全委員5名中5名の御出席をいただいております、鎌倉市児童福祉審議会条例7条2項に定められる定数を満たしております。

また、本日は会場が狭小のため、新型コロナウイルス感染症防止策とし、傍聴者の募集を中止したため、傍聴者はありません。

それでは次に審議会の委員長・副委員長の選出に移りたいと思います。

鎌倉市児童福祉審議会条例第6条によって委員の互選ということになっております。委員の皆様方で、選出をお願いしたいと思いますが、どなたかご推薦はございますか。

○富田委員

松原委員をお願いするのがよいのではないですか。

○正木課長

これまでの開催した鎌倉市児童福祉審議会の場では、委員長を松原委員に、副委員長を富田委員にお願いしていた経緯があります。

副委員長を富田委員にお引き受け頂ければと思いますが、いかがでしょうか。

<了承>

○正木課長

ありがとうございます。

それでは、恐縮ですが委員長を松原委員に、副委員長を富田委員にお引き受け頂ければと思います。  
早速ですが、松原委員は委員長席へ御移りください。  
それでは、ここからの進行は松原委員長にお譲りしたいと思います。

○松原委員長

ご指名にあずかりましたので、当審議会の委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。  
それでは改めまして、令和2年度第1回児童福祉審議会を開催させていただきます。  
最初に事務局から留意事項などあればお願いします。

○齋藤職員

こども支援課の齋藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。  
委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。本審議会におけます情報の取り扱い、資料7「鎌倉市児童福祉審議会会議公開取扱要領」に基づき、運営されます。  
情報の公開が適当でないと委員長が判断した場合を除いて、公開することとなっています。また、会議録につきましても原則公開ということになります。

○松原委員長

本日の会議は公開ということによろしいでしょうか。

<了承>

○松原委員長

次に、事務局から配布資料の確認をお願いします。

○齋藤職員

では、お手元の資料の確認をお願いいたします。本日は資料1から資料7までを用います。  
皆様には事前に資料1から資料7までを配付させていただき、また、資料1の「家庭的保育事業等認可申請書一式」のうち「8-2 収支予算書」については後日追加資料として配布させていただいております。  
資料の過不足はないでしょうか。

○松原委員長

それでは、次第4「キンダークリップ西鎌倉の設置認可について」の説明に移りますが、事務局より事前説明がございますのでお願いいたします。

○松本課長

保育課長の松本と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は、令和2年10月の開所に向けて準備を行っているキンダークリップ西鎌倉の設置認可に向けて、委員の皆さまからのご意見を頂戴するため、審議会の所掌事務である「児童の福祉に関する」調査審議として開催させていただいた次第でございます。

児童福祉法第34条の15第2項では、市町村長の認可を得て、家庭的保育事業等（家庭的保育事業、小規模保育事業A型・B型・C型、居宅訪問型保育事業、事業所内保育）を行うことができると規定されており、また、同第4項では、その認可をしようとするときは、あらかじめ市町村児童福祉審議会を設置している場合はその意見を聴かなければならないことが規定されております。

どうぞよろしくお願ひいたします。

○松原委員長

それでは、次第4「キンダークリップ西鎌倉の設置認可について」説明をお願いします

○松本課長

資料1の「家庭的保育事業等認可申請書」につきましては、審議会終了後回収させていただきます。また、皆様からのご意見等については、説明を一通り終えてから頂戴したいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

それでは、資料1の家庭的保育事業等認可申請書を用いてご説明いたします。資料1の2ページをご覧ください。事業者に関する情報です。

事業者は、学校法人西鎌倉学園

代表者及び園長は、後藤 光葉 氏です。代表者の経歴につきましては、資料1のインデックス番号「10-1」、181ページに記載の履歴書のとおりです。

事業開始予定は令和2年10月1日。

名称は「キンダークリップ西鎌倉」、事業類型は小規模保育事業A型となります。

所在地は、鎌倉市西鎌倉二丁目17番1号。

定員は1歳児6人、2歳児6人の計12人となります。

保育士の配置状況についてですが、インデックス番号「9-1」、174ページをご覧ください。

保育士は、採用予定も含めて常勤保育士が4人、非常勤の保育士が3人の体制となる、常勤換算すると5人の保育士が配置されています。

キンダークリップにおける認可基準上の配置基準は3人となっており、基準を超えた保育士が配置されます。

なお、キンダークリップ西鎌倉は令和3年度から1歳児定員8人、2歳児定員11人の計19人に定員を増やす予定であり、引き続き保育士採用に向けた取り組みを行っているところです。

戻りまして、インデックス番号「1」、3ページをお開き下さい。設備の状況ですが、乳児室の有効面積は38.31㎡、保育室の有効面積は42.84㎡、そのほか遊戯室として62.27㎡、調理室は26.55㎡となっています。屋外遊戯場は建物正面の園庭を主に利用することとなり、面積は518.18㎡となります。

運営方針等についてですが、4 ページをご覧ください。

開所時間は、平日が7時30分から18時30分の11時間で、土曜日が7時30分から16時30分の9時間で、保育短時間の設定は平日・土曜日の8時30分から16時30分までの8時間です。

休日保育、延長保育、夜間保育、一時預かり事業、病児・病後児保育事業は実施しません。

費用徴収に関してですが、保育料以外の費用徴収については、特定負担額及び行事費、おむつ代、保険加入にかかる保護者負担分等を徴収する予定です。

最後に連携保育施設についてです。

家庭的保育事業については、原則として3歳未満児を受け入れの対象としているという事業の性格を踏まえ、園庭開放や合同保育、相談指導等の後方支援などを行う保育内容の支援及び卒園後の受け皿の役割を担う連携施設を設ける必要があります。

キンダークリップ西鎌倉は、同一法人の施設である、西鎌倉幼稚園を連携先として設定します。西鎌倉幼稚園は平成26年度から在園児向けに最大11時間の長時間の預かり保育を行っており、保育を必要とする児童の受け入れが可能です。キンダークリップ西鎌倉を卒園した後、希望する児童は優先的に西鎌倉幼稚園を利用することとなります。

その他の資料につきましては、事前にご一読いただけたかと思しますので、説明は省略させていただきます。以上で説明を終わります。

#### ○松原委員長

事務局より説明がありましたが、事前の見学も含めて、何かご意見やご質問はございますか。

#### ○富田副委員長

小規模保育所というにはすばらしく大きい施設だったので驚いたのと、調理室が大きく、調理器具が多いので、幼稚園の方も一緒にやっているのではないかと思ったのと、近い将来認定こども園に移行する意思があるのかどうか伺いたいのですが、どうなのか。

#### ○松本課長

調理室につきましては幼稚園自体にも調理室はあったのですが、狭いということで、今回小規模保育事業所の併設にあたりまして、大きめの、幼稚園部分を含めた調理ができるような調理室を設けた、というように聞いております。

認定こども園につきましては、当面の間は考えていないが、将来的に認定こども園化についても考えたい、と法人から聞いております。

#### ○富田副委員長

調理は外部委託ですよね。12人で、1、2歳児であれだけの機材が揃っているということは、調理室はいらないのではないかと考えて、園長に幼稚園の調理も一緒にやると聞いたが、幼稚園は給食をやっているのか。

○山田委員

幼稚園は、今は半分くらい給食になっております。

○富田副委員長

希望者だけですか。

○山田委員

その幼稚園によって違いますけれども。

○富田副委員長

あとはお弁当ですか。

○山田委員

そうですね。給食が半分くらいです。

○松本課長

今現在は週2回給食、残りがお弁当になっています。

○富田副委員長

外注の契約書があったけれども、これは幼稚園も含めた契約書ですか。

それとも保育所だけのものか。

○松本課長

一括して調理になりますので、幼稚園も含めたものになります。

○富田副委員長

隣家との間隔がすごく狭いと思ったのですが、クレームはなかったのか。

○松原委員長

これからコンクリートの擁壁を建てると言っていましたね。

○松本課長

以前園長から聞いたお話ですと、隣家に近い方からの人の出入りを考えていたのですが、それに関しては避けて頂きたいとお話を聞いて、それは避けるという形に。

○富田副委員長

いま工事しているところの、1段下のお宅との間隔がものすごく狭いが、苦情はなかったのですか。

○松本課長

その点の苦情は聞いておりません。通路の関係で近隣の方からの要望があると聞いておりますが。

○富田副委員長

隣の方との関係を密にしておいた方がいいと思いますね。

○松本課長

そのあたりは動いて頂くよう伝えておきます。

○富田副委員長

あと、気になったのは手洗いの角が、つかまり立ちする子とか、歩き始めの子が手を洗うときに角にぶつけるとおでこを切ってしまう。

今さら手洗いを取替えるわけにはいかないと思うが、園長先生にも言いましたが、横の板のところは面取りして丸く落とさないと、ケガのもとになる。このへんはよく指導しておいてください。

○松本課長

本日ご審議頂いたのちに市のほうで認可にあたりまして現地の確認を行います。その時までにご意見頂いた件が改善できたかどうか、市から改めて改善を求めるようにいたしますのでその点ご理解頂ければと思います。

○松原委員長

他はいかがですか、給食の件はよろしいですか。

○富田副委員長

大丈夫です。保育園にはあんな立派な施設はないので羨ましい。あとでまた気が付いたら言います。

○松原委員長

まだ工事中だったので出入口の所がベニヤ板渡してボコボコするのですがあれは出来上がるとスロープか何かになるのですか。

○松本課長

本日見学頂いた際に、ベニヤ板が敷かれていた部分は階段になります。階段の横の部分に園庭に向かう左手部分にスロープがあり、そこから入れるようになります。

○松原委員長

子どもの受け渡しはそこまで来て受け渡しするのですね。

○富田副委員長

地下室はあるのか。



○松本課長

地下はないです。

○富田副委員長

工事の方が下に降りて行ったが。

○松本課長

地下の見える部分が通路になっていまして、通路を通過して幼稚園部分に入れるようになっています。

○富田副委員長

階段になってるけど下へ下りれるのか。

○松本課長

下りていってそこから幼稚園に入れる。そのような導線になってます。

○富田副委員長

地下室があるわけではないのね。

○松本課長

地下室はございません。通路がありまして階段を下りていくと通路に入りましてそこから幼稚園に入れます。そのような作りです。

○松原委員長

幼稚園側の問題だけど、足を怪我してる子が大変だと思ったので、移動が不便になるなと思ひまして。

○松原委員長

他いかがですか。

○小泉委員

今現在、定員構成は1歳が6名で2歳が6名ということで年度末、来年には8名8名になるとおっしゃいましたっけ。

○松本課長

8名、11名になります。合計19名です。

○小泉委員

卒園後の受け皿の人数が6名と書いてあるので卒園児が2歳児が卒業して幼稚園に入るわけですよね。最大11名ですか。

○松本課長

来年度以降11名になります。

○小泉委員

今年は6名ですか。

○松本課長

6名です。

○小泉委員

山田先生にお伺いしたいのですが、この小規模保育所の中で1、2歳児と過ごして3歳で幼稚園に登園するということは預かり保育の対象ということですよ。

○山田委員

そうです。幼稚園の場合は、うちの場合は認定こども園ですから、1号認定、2号認定がありまして、2号認定がクラスのほとんどです。これは市が認定して2号認定という認定になり、2号認定児は毎日預かりをしている。今は夏休みで1日40人ぐらいです。

○小泉委員

認定こども園の場合はそうなんですけど、普通の幼稚園の場合は大変なのかなと思ひまして。

○山田委員

普通の幼稚園も預かりをきっちり行っている園もあります。

○小泉委員

小規模保育所から一般の保育所に移るのが普通なのかなと思ったのですが、幼稚園の受入れはもちろんないわけではないですが、そういうことは理論上あるということですね。

○山田委員

今ここで西鎌倉の問題にしたらいいか分からないのですが、2歳児から3歳児で幼稚園入りますよね。費用がかかるケース。入園料など。保育園行く場合かからないですよ、それをどのように考えるか。うちは認定こども園を作るのに入園料の価格を下げるといような措置をした。でないと、本来は保育園に行きたいが、入れないため、幼稚園や認定こども園に入る方はどうしても費用がかかってしまう。その問題はどうか。

○小泉委員

受け入れがあっても単純に受けるとは限らないってこともありますよね。入園料が発生するならば他の所に行きたいとか。幼稚園側は6名の確保をしますよということですよ。

○松本課長

優先的に入所できる枠があるということですね。

○山田委員

大体、今夏休みで1号認定も入れて毎日大体、4, 50人預かり来てますね。ですから職員ばかり増えてしまい大変です。

○松原委員長

園の周りで保育園で卒園後、受け皿になりそうなところはありますか。

○松本課長

近くにまんまる保育園がありまして、まんまる保育園がきみのまま保育園の受け皿になってます。もともと腰越地区が大きな保育園が腰越保育園のみであとは小規模保育所です。

○小泉委員

腰越保育園は公立ですよ。

○松本課長

はい、そうです。

近くに受入れそうな園がなく、たんぼぼ共同保育園が比較的近いのですが、卒園児を受入れできる枠がありません。

一応、受け皿は西鎌倉幼稚園ということで設定されています。

○松原委員長

学費の問題が大きいかもしいですね。それは園側の責任ではないですけど。

○松原委員長

今、幼稚園に行ってる子の就園補助金はいくらでしたっけ。

○山田委員

今、保育料無料ですから。就園奨励費の代わりに。

○富田副委員長

保育園は無料というのは3歳以上児ね。だから2歳までは保育料を保護者から徴収します。

○松原委員長

他にいかがですか。

○富田副委員長

なぜ腰越地区には保育園が増えないのですか。

○松本課長

以前、腰越地区に待機児童が多かったということで七里ガ浜楓幼稚園の認定こども園化や小規模保育事業所きみのまま保育園やてつなぐ保育室を新たに設置いたしました。以前ほど待機児童というのは腰越地区には発生しておりませんで、キンダークリップ西鎌倉を設置するので腰越地区もある程度解消するのではないかなというように思っています。

○富田副委員長

行政の方はそうおっしゃいますが、以前は保育にかける時間が漁業をする人は朝の5時からお昼まで、午後は網の繕いなどの翌日の漁の準備をしているので、厚労省は午後が空いているから保育にかける項目にあたらないうってなかなか認めてくれなかった。

夜は、夜間保育はするけど、朝の4、5時から小さい船で両親が海にでるから、そのようなとき朝の5時に子どもは保育にかけるという話をしたけど、腰越地区の人はなんとかならないか、と話をしたけど行政は国が認めないからと返事しなかった。

今になって、七里ガ浜楓幼稚園ができたとか言っていました、それはじゃあ公立がやってくださいよと話になったけど腰越保育園がやるのかと思ったけど、やっていない。

腰越に待機児はいませんと言ったけど片瀬や藤沢に流れている。

そのようなこともあったので、腰越地区に今は、漁業に出る人は減ってしまったけど、希望があったら対応できるように前倒しで朝の5時から8時間、開けておくのは12時間でも保育時間は8時間という厚労省あたりの決まりなら前倒しでやれば差し支えないのではと思います。

そういうことが出てくる可能性があるということだけは知っておく必要があると思います。

○松本課長

ご意見として頂戴いたします。

○松原委員長

他にいかがですか。

○小泉委員

174ページなんですけど60歳までが定年規定と書いてあるのですが、64歳の方が専任として計上されていて、時給と書いてあるのは非常勤扱いなのですか。ただ、来年から同一賃金、同一労働なので、給与の関係はわかりませんが、若干、定年規定があるのに違和感があるなと思います。

○松本課長

この方は、非常勤となります。

○小泉委員

これは専任ですよ。

○松本課長

専任です。

○松原委員長

週9時間と書いてあります。

○小泉委員

定年規定には当てはまらない方ですか。

○松本課長

非常勤の扱いです。

○小泉委員

非常勤なら兼任が好ましいのではないかと。

○山田委員

この方は元幼稚園の先生です。

○小泉委員

きっとベテランの方で、この方がいけないとかそういうわけではなくて、その書き方がなぜ専任という書き方と定年規定がどうなっているのかなと思ったので、確認です。

○松原委員長

確認してあとは、「専任」として書くのかどうか決まりも調べておいてください。

○小泉委員

定年規定が書いてあるところはそれで確認しているのですよね。

○松原委員長

他いかがですか。

これは審議会の意見を聞くということですから賛成、反対の決はとらなくていいですよ  
一応とるのでですか。

○正木課長

委員長がおっしゃったように特に議決ということではなく意見を伺うこととなっております。

○富田副委員長

主任保育士になる方はどなたですか。

○松本課長

主任に就任されるのは、(個人名)さん。名簿の上から3番目です。

○富田副委員長

一番、経験年数が長い(個人名)さんではなく、(個人名)さんがなるのですね。

○松本課長

(個人名)さんは非常勤扱いなので、そうなります。

○富田副委員長

ここに掲載されている方は常勤ではなく非常勤なのですか。

○山田委員

時給と記載されているのでこれは非常勤ですね。

○小泉委員

そうですね。けれど「専任」と記載されているから。

○富田副委員長

園長は幼稚園との兼任だからよいのだけど、他の保育士が常勤じゃない、非常勤なのですか。

○松本課長

常勤の方もいらっしゃいます。

○平井部長

この専任、兼任は、小規模保育施設「専任」という意味で、園長は幼稚園と兼任という扱いになります。

○富田副委員長

ここでは、常勤か非常勤かはわからないということですね。

○平井部長

時給と記載されている方についてはおそらく非常勤です。

○小泉委員

そういう意味ですね。わかりました。

○松原委員長

一番下の方は採用予定で、専任が4名でやられるということですね。

○松本課長

常勤が4名、非常勤が3名となります。

○松原委員長

どなたか園長候補を探しているとおっしゃいましたか。

○松本課長

探している状況で、見つかるまで幼稚園と同様に後藤 光葉氏が園長となります。

○松原委員長

大きな幼稚園なので、兼任ではなく早めに探されたほうがいいのかもしいですね。

○松原委員長

ではこのくらいでご意見、ご質問閉じてよろしいでしょうか。

それでは今後のスケジュール等について事務局の方から何かございましたらお願いします。

○正木課長

今年度の児童福祉審議会については、来年度開設予定の施設等がないことから、今回の会議のみと考えています。今後、開催となる場合は、改めて開催案内をさせていただきますのでよろしく願いいたします。

○松原委員長

以上をもちまして、本日予定しております全ての議事が終了致しました。それでは事務局お願いします。

○正木課長

長時間にわたりまして、ありがとうございました。これもちまして、令和2年度第1回鎌倉市児童福祉審議会を閉会と致します。